新たな可能性

2024年 年次報告書

Bank of Hawai‘i

目次

1 会長メッセージ

5 2024年の財務実績の概要

6 昨年の振り返り

10 私たちのコミュニティ

16 私たちの行員

20 顧客プロフィール

26 連結損益計算書

27 連結貸借対照表

28 株価の相対的パフォーマンス

29 継続的な配当金の支払い

30 エグゼクティブコミッティおよびオペレーティングコミッティ

32 取締役会

33 株主情報

表紙

オアフ島東海岸沖でトレーニングする女子長距離クルー。水上で一丸となるパドラーたちが、共通の目標に向かって努力することで何を成し遂げられるのかを示しています。バンク・オブ・ハワイは常に新たな可能性を追求しています。革新的な方法でお客様や地域社会に貢献することや、従業員に最良の機会とサポートを提供することまで、幅広く取り組んでいます。

© 2025年、バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション。Bank of Hawaii®はバンク・オブ・ハワイの登録商標です。Bankoh®およびSimpliFi Mortgage®はバンク・オブ・ハワイの登録サービスマークです。Bank of Hawai'iのロゴおよびBank of Hawai'iはバンク・オブ・ハワイの登録商標です。Bankoh Investment Services, Inc.はバンク・オブ・ハワイのノンバンク子会社で、米金融取引業規制機構（FINRA）および米証券投資者保護公社（SIPC）の会員です。

Apple Pay®は、Apple Inc.の登録サービスマークおよび商標です。Samsung Pay®は、Samsung Electronics Co., Ltd.の登録サービスマークおよび商標です。Google Pay®はGoogle LLCの登録サービスマークおよび商標です。本報告書（印刷物およびオンライン）に記載されているその他すべての商標およびサービスマークはそれぞれの所有者に帰属し、本報告書で使用することにより所有権を主張するものではありません。個人や本報告書に記載するいかなる事業、組織、企業、商標、ロゴ、ブランドまたはその他の名称もしくは由来の所有者は、本出版物を後援、承認、支持しておりません。

株主の皆様、

2024年は、バンク・オブ・ハワイにとって力強さと回復の年でした。挑戦と機会の両方があったこの1年、当行はコアバリューに忠実であり続ける一方で、金利動向、変化する市場環境、地政学的な緊張といった複雑な経済情勢を乗り越えてまいりました。

強固な関係を構築し、信頼を育み、将来に投資するという当行の取り組みは、2024年に良い結果をもたらし、長期的にも良い立ち位置を確保することとなりました。安定性と成長に重点的に取り組むことで、この島を故郷とする人々や企業が繁栄し続けるよう支援し続けてまいります。

バンク・オブ・ハワイは、これからの時代に向けて万全の体制を整えています。そして、当行の成功を可能にしてくれた従業員、お客様、株主の皆様に感謝いたします。

2024年の受賞実績

アメリカで**最も信頼**される企業に選出

ニューズウィークによる評価

銀行業カテゴリーで全米**第24位**

このリストに名を連ねたハワイで唯一の会社

堅調な財務実績

バンク・オブ・ハワイは2024年を堅調な財務実績で締めくくり、強固なバランスシート、規律ある経費管理、そして長期的な成長へのコミットメントを維持しました。

2024年通期では、希薄化後1株当たり利益は3.46ドル、純利益は1億5,000万ドルでした。資本基盤を強化しながら、堅実な収益を確保してまいりました。2024年の平均資産利益率は0.64%、平均株主資本利益率は10.85%と、健全な水準を維持しました。

2024年6月に発表された連邦預金保険公社の年次預金概要によると、バンク・オブ・ハワイは預金市場でシェア第1位を獲得しました。お客様からの信頼の証として、2024年に総平均預金残高は205億ドルに増加し、2024年12月31日時点での総融資残高は141億ドルに増加しました。

当行の資産の質は依然として高く、規制資本要件を上回る水準を維持しています。6月の優先株発行を成功裏に終えたことで、すでに強固であった当行の資本基盤はさらに強化されました。

特に、純金利マージンは3四半期連続で拡大し、純金利収入は引き続き増加傾向にあります。これらの傾向は、株主価値を重視しつつ、業界の変化に柔軟に対応する当行の能力を示しています。

ハワイの経済

2024年のハワイ経済は回復と勢いを示し続け、今後数年間において楽観的な見通しをもたらしました。

観光業は引き続き成長の主要な原動力であり、ハワイへの訪問者ビジター数と旅行その消費額は5か月連続で増加しました。12月だけでも、ハワイには910,055人の観光客（2023年比5.5%増）が訪れ、総消費額は20億4,000万ドルとなり、ほぼパンデミック前の水準に達しました。

雇用市場も安定しており、ハワイ州の12月の失業率は3%で、全国平均の4.1%を上回る結果となりました。

住宅ローン金利の上昇や在庫不足にもかかわらず、ハワイの不動産市場では引き続き需要がみられました。島々全体で一戸建て住宅価格が上昇し、州全体の販売件数は2023年から7%増加しました。コンドミニアムについては価格は上昇したものの、販売件数は若干減少しました。

2024年6月に発表された連邦預金保険公社の預金に関する年次預金概要で、バンク・オブ・ハワイは、預金市場でシェア第1位を獲得しました。

帰属意識の醸成

バンク・オブ・ハワイでは、すべてのチームメンバーが自身の価値を感じ、サポートされていると感じられる未来を築くことに尽力しています。チームメンバーを歓迎する環境を育み、行員が自身の可能性を最大限に発揮できるよう、持続的かつポジティブな影響を作り出すことに取り組んでいます。

当行は、全行員の個人的および専門的な成長を支援するさまざまなプログラムや取り組みを提供しています。人間関係や帰属意識を育む重要な方法のひとつに行員リソースグループ（ERG）があります。行員が主導するのこれらのグループは、メンターシップや地域社会への貢献、職業能力開発の機会を提供しています。また、すべての意見が尊重される環境を整えるとともに、チームメンバー全員が成長できる機会を支援しています。

異なる視点を受け入れ、当行のコアバリューに基づいて行動し、アロハの精神とともに職場と地域社会のさらなる強化を目指します。（2024年の活動のハイライトについては、本報告書の16ページの「私たちの行員」のセクションをご覧ください。）

右：3月の女性史月間を記念して、当行の従業員リソースグループである「ウィメン・インスパイアード」がホノルルの本店前に集まりました。

お客様への配慮

当行の活動の中心に常にあるのは、お客様に優れた顧客体験をご提供することです。経済的な困難により、多くの企業が業績の低迷にあえぐ中、当行の顧客体験指数は昨年も高い水準を維持しました。これは、当行が「人を第一に考える」という約束を果たしていることの証と言えます。CXインデックススコアは、銀行などの企業が顧客とのやりとりの質を評価するための重要な指標です。これは通常、顧客満足度、ロイヤリティ、そして企業がデジタル、対面、カスタマーサポートなどを通じたさまざまな接点において、顧客の期待にどれだけ応えているかを反映するものです。

銀行業務のニーズが進化する中で、当行はより簡単により直感的に財務管理ができるデジタルツールへの投資を続けています。しかし、単にデジタルバンキングを提供するだけでは不十分です。シームレスで使いやすく、顧客のニーズを事前予測できるデザインであることが求められます。すべてのデバイスで、より充実した、一人ひとりに寄り添った、一貫性のあるエクスペリエンスを提供できるように、当行は2024年にモバイルおよびオンラインバンキングのプラットフォームをアップグレードしました。

同時に、対面でのつながりも大切にしています。ブランチ・オブ・トゥモロー・ネットワークは、当行の実支店がこれからも快適で現代的な空間であり続けるとともに、最高水準のサービスをお客様に提供することを保証します。3月には、カウアイ島にあるハナペペ支店に代わり、新たにエレ・エレ支店をオープンしました。また、ラハイナ・キャナリー・モールにラハイナ支店の建設も始めました。2025年に再オープンしたするこの支店は、1930年からサービスを提供してきたラハイナの人々や企業に対する当行の揺るぎない献身を象徴すものです。しています。

125年以上にわたり、当行はハワイ諸島の地域社会に貢献してきたことを誇りに思っています。この使命は、マウイ島のハナやラナイ島などで今後2年間に予定されているブランチ・オブ・トゥモローのさらなるアップグレードを通してこれからも続いていきます。当行は、オンラインと対面の両方でお客様とともに進化し、これからの世代にも寄り添い続けることを楽しみにしています。

カウアイ島の新支店エレ・エレ支店のオープン初日。リレーションシップサービス担当のRhoda Lacaden（ローダ・ラカデン）。

コミュニティへの配慮

強いコミュニティづくりは団結あってこそです。バンク・オブ・ハワイでは、変化をもたらす人々や組織を支援します。スポンサーシップ、助成金、ボランティア活動を通じて、当行は意義のある形で地域社会に貢献します。

今年も、バンク・オブ・ハワイの行員、ハワイ銀行財団、そして地域のパートナーが協力し、毎年恒例のライブ・コクア・ギビング・キャンペーンを実施しました。このキャンペーンを通じて、アロハ・ユナイテッドウェイとそのネットワークである300の地元非営利団体を支援するために募金活動を行いました。

このキャンペーン以外にも、バンク・オブ・ハワイ財団は2024年に地元の非営利団体40社に助成金を交付し、地域社会に貢献するプログラムの強化を支援しました。その中には、ハワイ・コミュニティ・レンディングのラハイナ住宅所有者復興プログラムへの支援も含まれ、デモイン連邦住宅貸付銀行から3:1のマッチング比率で資金が提供されました。これらの資金は、ラハイナの最大500世帯の住宅所有者の差し押さえ回避や、自宅再建のためのローン確保に役立つでしょう。

リーダーシップの役割拡大

2024年7月、**James C. Polk（ジェームス・C.ポーク）**がバンク・オブ・ハワイおよびバンク・オブ・ハワイの社長に昇進しました。商業銀行業務、商業サービス、キャッシュマネジメント、資産管理の監督に加え、ジムは現在、リテールバンキングを率いて、収益を生み出すすべての事業の指導に携わっています。35年以上の金融サービス業界での経験と、お客様および地域社会への情熱に裏付けられた彼のリーダーシップは、当行の成功を牽引し続けています。

同時に、**Matthew K.M. Emerson（マシュー・エマーソン）**がチーフ・リテール・バンキング・オフィサーに任命され、個人向けバンキング商品、支店銀行業務、およびコンタクトセンターを担当することになりました。2010年の入行以来、マットはチャネルをまたいだサービス統合において重要な役割を果たしており、彼のリーダーシップは当行の戦略的方向性を形作る上で不可欠なものとなっています。

5月、**Taryn L. Salmon（タリン・L.サーモン）**は副会長兼最高情報・業務責任者に昇進し、エンタープライズ業務、IT、戦略的データ・分析、情報セキュリティ、デジタルバンキングなどを統括することになりました。25年以上の経験を持つタリンは、2019年に入行して以来、当行のテクノロジーチームの発展に大きく貢献してきました。

また、20年にわたる卓越したリーダーシップを発揮した最高マーケティング責任者であった**Susan L. Ing（スーザン・L.イング）**の退職を祝いました。2020年に銀行に入行した**Kristine R. Stebbins（クリスティン・R.ステビンズ）**は、シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高マーケティング責任者に昇進しました。彼女は現在、ブランドと統合マーケティング、コミュニティと社員エンゲージメント、顧客体験、リサーチインサイト、バンク・オブ・ハワイ財団といった主要分野を含むマーケティング部門を率いています。

さらに、2024年にはエクゼクティブコミッティに新たに3人のメンバーを迎えました。

- **Guy C. Churchill（ガイ・C.チャーチル）**、シニアEVP兼責任者。卸売および商業与信グループ、エンタープライズ・クレジット・リスク・アナリティクスを担当。
- **Edward C.S. Kim（エドワード・C.S.キム）**、シニアEVP兼消費者金融部門エグゼクティブ・ディレクター。消費者金融、ディーラー間接金融、住宅ローンバンキング、個人向け預金を含む、個人向け融資および預金業務を担当。
- **Bradley “Brad” S. Satenberg（ブラッドリー・“ブラッド”・S.セテンバーグ）**、シニアEVP兼最高財務責任者補佐。財務戦略をサポートし、財務部門、財務報告、予算編成を担当。

このリーダーシップの移行は、成長、革新、そして卓越したサービスを追求する当行の継続的な取り組みを反映しています。私は、当行のチームが持つ専門知識とビジョンが、これからもバンク・オブ・ハワイの成長を支え続けると確信し、その未来に期待と楽しみを抱いています。

おわりに

2024年、当行はお客様、従業員、株主、そして地域社会に価値を提供するという127年にわたる伝統を守りながら、新たな機会を積極的に取り入れました。当行チームの献身と、当行をご利用いただいている皆さまからの信頼に感謝いたします。皆様のおかげで、今年もまた素晴らしい年を迎えることができました。

心より感謝の意を込めて。

PETER S. HO（ピーター・S.ホー）
会長、社長兼CEO

2024年の財務実績の概要

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社（1株当たりの額を除き、千ドル）

12月31日終了年度		2024年		2023年
収益のハイライトおよび業績指標				
当期純利益	$	149,994	$	171,202
基本1株当たり利益		3.48		4.16
希薄化後1株当たり利益		3.46		4.14
1株当たり配当		2.80		2.80
純利益／平均総資産（ROA）		0.64％		0.71％
純利益／平均株主資本（ROE）		9.78％		12.63％
純利益／平均普通株主資本（ROCE）		10.85％		13.89％
純預貸利ざや[1]		2.16％		2.24％
効率性比率[2]		67.30％		64.95％
普通株式1株の市場価格：				
終値	$	71.24	$	72.46
高値		82.70		81.73
安値		54.50		30.83
12月31日現在				
財政状態のハイライトと業績比率				
貸出金とリース債権	$	14,075,980	$	13,965,026
資産合計		23,601,114		23,733,296
合計預り金		20,633,037		21,055,045
その他負債		558,274		560,190
株主資本合計		1,667,774		1,414,242
普通株1株当たり純資産	$	33.27	$	31.05
未払い貸出金とリース債権の引当金		1.06％		1.05％
フルタイム社員数		1,865		1,899
支店およびオフィス		50		51
12月31日終了四半期				
収益のハイライトおよび業績指標				
当期純利益	$	39,162	$	30,396
基本1株当たり利益		0.86		0.72
希薄化後1株当たり利益		0.85		0.72
純利益／平均総資産（ROA）		0.66％		0.51％
純利益／平均株主資本（ROE）		9.42％		8.86％
純利益／平均普通株主資本（ROCE）		10.30％		9.55％
ネット金利マージン[1]		2.19％		2.13％
効率性比率[2]		66.12％		73.36％

[1] *ネット金利マージンは、受取利息純額（課税ベース）が平均収益資産に占める比率と定義されます。*

[2] *効率性比率は、非利息費用を総収入（純受取利息と非利息収入の合計）で除した数値と定義されます。*

SVP兼オンライン・モバイルバンキング部門ディレクターのマット・ポラードは、妻のグレンダと息子のケイレブとともに、2024年のブランドキャンペーンに登場しました。

昨年の振り返り

有意義な機会の創出

銀行業務の本質は人との関わりです。お客様の希望や夢、持ちたい家、立ち上げたい、または成長させたい事業、子供たちに受けさせたい教育、退職後の経済的な安定など。当行は、お客様、従業員、株主、そして地域社会を含むすべてのステークホルダーの生活を豊かにし、永続的にポジティブな影響を生み出すことに尽力しています。

ブランチ・バンキング

バンク・オブ・ハワイの支店は、お客様と直接対話する貴重な機会を提供しています。

2024年、当行はブランチ・オブ・トゥモローネットワークを隣接諸島の支店に拡大することに特に重点を置きました。3月には、カウアイ島の旧ハナペペ支店に代わって、エレエレショッピングセンターに、新たにエレエレ支店をオープンしました。

充実のセルフサービス機能を備えた24時間365日利用可能なATMやビジネス用貸金庫へのアクセスに加え、この支店では現在、営業時間延長し、対面またはオンラインでの個室相談室もご用意しています。

7月には、ラナイ支店の営業時間も延長されました。バンク・オブ・ハワイは現在、島唯一の地元密着型銀行です。

2024年に着工したマウイ島のラハイナ・キャナリー・モールに建設中のラハイナ新支店は、2025年第2四半期に完成する予定です。この支店の再開は、2023年の山火事からの復興に取り組む力強いコミュニティに金融サービスを提供し、ラハイナとその住民に対する当行の深いコミットメントを象徴しています。バンク・オブ・ハワイは、1930年にフロント・ストリートに最初の支店を開設して以来、ラハイナの地域社会に貢献しています。

以下の近隣諸島で、今後2年間にブランチ・オブ・トゥモローへの改装が予定されています。

- マウイ島ハナ
- ハワイ島カウ
- モロカイ島カウナカカイ
- ラナイ島

オアフ島では、東ホノルル地域のお客様の高まるニーズに応えるため、ハワイカイ支店の改装工事を完了しました。隣の店舗との合併・拡張により、支店内の面積が560平方フィート増加し、新たに2つの窓口が設置されました。

バンク・バイ・アポイントメント

「バンク・バイ・アポイントメント」は、専門的な対面バンキングまたはバーチャルバンキングに関して、お客様が当行との面談日時をオンラインで予約できる便利な仕組みです。支店への直接のご来店に加えて、毎月平均4,276件のご予約をいただき、年間では予約件数が51,000件を超えました。

ATMベンダーとの提携を更新

お客様のご意見を反映し、戦略の主要な柱として、最新のATMの先進的な機能を活用し、セルフサービスバンキングへのアクセスをさらに拡大していきます。2024年、当行は信頼できるATMサービスプロバイダーのNCRアテロスとの長年にわたるパートナーシップをさらに強化し、このチャネルを通じて提供するサービスの向上を図りました。

バンク・オブ・ハワイの支店およびATM

2024年12月31日現在

	支店および インストア型支店	ATM
ハワイ州	**46**	**268**
オアフ島	25	182
ハワイ島	8	39
マウイ島	7	26
カウアイ島	4	19
ラナイ島	1	1
モロカイ島	1	1
西太平洋	**4**	**54**
グアム	2	38
北マリアナ諸島／ サイパン	1	11
パラオ	1	5
合計	**50**	**322**

ハワイ語を称える

バンク・オブ・ハワイのすべての支店の看板に、ハワイ語の公式文字である「オキナ」を取り入れるという数年にわたるプロジェクトに取り組み、現在、全支店の約半数にまで達しています。

24 新しい看板に変えた支店数

14 2025年設置予定の新看板数

写真：ヒロ支店は、看板に「オキナ」を取り入れた最初の支店のひとつでした。

新しいデジタルバンキングプラットフォーム

オンラインおよびモバイルバンキングサービスに対するお客様の信頼が着実に高まりをみせています。当行ではこの夏、オンラインおよびモバイルバンキングのプラットフォームを大幅に改善しました。当行の新しいデジタル製品は、モバイルとオンラインアプリを通じて、シームレスな機能とともにでスムーズな体験をお届けします。アップグレードされた機能には、カスタマイズやセルフサービスオプションが含まれ、アラートや通知の設定、トラッキングや予算管理ツールの利用などが可能です。

245,000

新アプリを導入した顧客数（8月のリリースから12月31日まで）

★★★★★

11,000件の評価に基づく4.8の星の高評価（iOS App Store）

モバイルウォレット

多くのお客様がスマートフォンをデジタルウォレットとしてご利用になっています。バンク・オブ・ハワイのデビットカードをデジタルウォレットにリンクさせれば非接触でのお買い物が可能になります。

730万ドル

2024年のApple Pay、Samsung Pay、Google Payを介した取引件数

顧客サービスにおけるリーダー

当行は定期的にお客様に連絡し、お客様のニーズや好みを満たせているかを確認し評価しています。2024年、米国全土の多くの金融サービス利用者が顧客経験の低下を報告する中、当行のお客様の反応は安定していました。複数の顧客接点（支店、ウェブサイト、オンラインバンキング、モバイルおよびカスタマーサービスセンター）で18,000人以上のお客様を対象として実施した調査によると、当行のブランド体験スコアは引き続き上昇していることを確認しました。これらのスコアが安定していることは、お客様に寄り添った個別化された銀行商品やサービスが、価値あるものとしてお客様に喜ばれ、評価されていることを示しています。

業務効率の改善

バンク・オブ・ハワイは、顧客体験の向上を最優先に掲げつつ、業務効率の向上に向けた新たな機会の発見にも注力しています。当行は、全銀行からチームを集め、業務手順を合理化し、異なる部署への引き継ぎを減らしました。その結果、最前線で働く行員が効率的にお客様にサービスを提供できるようになりました。

生成AIは、銀行業務で活用されている最新の革新的なツールです。バンク・オブ・ハワイは、責任を持ってAIを導入し、現場での業務効率の向上のためにさまざまな方法を模索しています。一例として、支店とコンタクトセンターチームは、顧客体験の向上とともに、チームの効率化とセキュリティの強化を目的としたAIの実用化を検討しています。現在、第一線で働く行員のトレーニングとコーチングの強化、自動音声応答による顧客体験の改善、そして顧客からのフィードバックから新たな洞察を得るためのパイロットプログラムが進行中です。

スモールビジネスを支援

2月から、当行はホノルル市街で毎月「フードトラック・デー」イベントを開催し、地元のスモールビジネスを支援しています。これは、メイン・ブランチの近くにあるビジネス街の中心で、さまざまな料理が楽しめる人気のイベントです。一般の方もぜひご参加ください。行員は20%の割引が適応され、友人や同僚と一緒にこのランチイベントを楽しんでいます。

フードトラックに加えて、マナ・アップと提携している地元企業や生産者を招いて指定の日に支店の外で展示販売を行っています。マナ・アップは、ハワイを拠点とする地元製品をグローバル市場に拡大することを目指す中小企業を支援する地元のアクセラレレーターです。当行はマナ・アップと過去3年間協力し、メンターシップやその他の支援を通じて提携企業の成長を支援してきました。

「フードトラック・デー」イベントは、ダウンタウンで大きな集客力があり、2025年まで延長されることになりました。

Toni Chai（トニー・チャイ）、George Cochard（ジョージ・コチャード）、Marina McArthur（マリーナ・マッカーサー）の3名の従業員は、バンク・オブ・ハワイ本店の外で毎月開催される「フードトラック・デー」を楽しみました。

ハワイの住宅問題解決のリーダー

当行は、経済的な安定と自立を築く上で、住宅を所有することがどれほど重要であるかを理解しています。住宅不足が続き全米で最も物価の高い州として常にランクインしているハワイでは、これが特に当てはまります。バンク・オブ・ハワイは不動産開発業者と提携して、ハワイの慢性的な住宅不足に対応する解決策を構築しています。また、当行の住宅ローン担当者はお客様の住宅購入のお手伝いをさせていただきます。当行がHUD 184Aネイティブ・ハワイアン住宅ローン保証プログラムを導入した2007年以降、当行は、ハワイに拠点を置く、ハワイ先住民保留地局（DHHL）ローンを提供する唯一の融資機関です。

住宅用不動産

2024年、バンク・オブ・ハワイはハワイ州における住宅用不動産ローンの提供金融機関として、総融資額で第1位を達成しました。

SimpliFi住宅ローンのサービスでは、便利なオンラインツールで住宅ローンや借り換えを合理化しました。また、経験豊富な住宅ローン担当者がプロセスを通して個別にアドバイスをいたします。当行は、皆さまが住宅購入、改修、ローンの借り換えなどあらゆる面で当行にご相談くださることを光栄に思っています。

バンク・オブ・ハワイは、低価格住宅の不足に対応するため、新たな解決策の追求に尽力しており、民間開発業者や州住宅局と緊密に連携して低所得世帯の住宅ニーズを支援しています。

2024年には以下のような住宅開発に着工しました

パロロ・ホームズ、オアフ島パロロ・バレー

パロロ・ホームズは、63棟の2階建てアパートから成る住宅施設で、地域中間所得（AMI）の30%～60%に該当する収入層の家族や個人に向けた経済負担を抑えた価格の住居を300戸以上提供しています。ハワイ相互住宅協会の監督の下、2024年12月に起工式が行われ、建物の改修とアップグレードがスタートしました。バンク・オブ・ハワイは、3,150万ドル以上を工事融資および無期限融資として提供し、この改装プロジェクトを支援しています。

ハレ・オ・ピイケア 第2期、マウイ島キヘイ

ハレ・オ・ピイケアの低価格住宅プロジェクトとして、地域中間所得（AMI）の30%～60%に該当する収入層のマウイ島在住の家族や個人向けに、223戸の新しい賃貸住宅が提供されます。2025年の完成を予定しています。2023年に第1期の起工式が行われ、2024年9月にはイケナキア・ディベロップメントによる第2期工事が始まりました。第2期では、高齢者（クプナ）向けに95戸が用意されており、そのうち1戸は特別な支援を必要とする方やホームレスの方のために確保されています。ハワイ銀行は第2期に対して、2,750万ドルの建設融資と1,070万ドル以上の株式出資を行いました。また、第1期では1ベッドルーム、2ベッドルーム、3ベッドルームの90戸の融資支援を行い、2025年の第3期ではさらに36戸の建設を支援する予定です。

経済的な負担を抑えた住宅

93	630	214
カウアイ島	オアフ島	マウイ島

2024年、バンク・オブ・ハワイの支援を受けて、住宅税控除を活用した**937戸**の手頃な価格帯の住宅建設が始まりました。さらに、2025年には同価格帯の住宅**800戸**以上の追加計画が進められています。

私たちのコミュニティ

地域社会の発展を支援

バンク・オブ・ハワイは、地域社会に長年寄り添い、支援を続けてきました。非営利団体との提携を通じて、ボランティア活動や慈善事業に取り組み、それぞれのビジョンの実現を後押ししています。

当行のブルー・クルーは、プリンセス・ルース・ケエリコラン・ミドルスクール施設内の下地を含む壁面塗装、歩道の洗浄、ガーデンの整備、ゴミ拾いなどを行いました。

バンク・オブ・ハワイ財団

非営利団体との提携一覧

バンク・オブ・ハワイ財団は毎年、コミュニティ内の多くの非営利団体を支援しています。ここに掲げたものは2024年に資金を提供した団体の一部です。

ハワイ・コミュニティ・レンディング

これには、デデスモイン連邦住宅貸付銀行によるラハイナ住宅所有者復興プログラムへの3:1のマッチングファンドが含まれています。このプログラムは、最大500世帯の住宅所有者に対して差し押さえの防止と住宅再建のための融資取得支援を行っています。

アロハ・ユナイテッド・ウェイ

2024年は、ALICEイニシアチブへの複数年にわたる誓約の最終年となりました。この取り組みでは、地元世帯の安定性向上を目指し、手頃な価格の住宅へのアクセス拡大などを支援するプログラムが展開されました。ALICEとは、Asset Limited, Income Constrained, Employedの略語であり、基本的な生活必需品の購入に苦労している個人や家族を指します。2022年から2024年のALICEイニシアティブでは、提携している非営利団体を通じて、ALICEの受益者に150万ドルを分配しました。

ホノルル美術館

2025年12月まで開催される特別展「Home of the Tigers」では、1920年代から1960年代にマッキンリー高校を卒業した7人の視覚芸術家の作品が展示されています。彼らは、美術教師たちとともに、ハワイにおけるモダニズムモダンニズムを定義する存在となりました。

ハワイコミュニティアクションプログラム

ナ・リマ・ハナ・エンプロイメント・コア・サービス・プログラム（Nā Lima Hana Employment Core Services Program）は、オアフ島在住の失業者および不完全就業者を対象に、個別就職相談、就職準備訓練、職業訓練校の授業料、職業紹介サービスを提供しています。

カウアイ・プラニング＆アクションアライアンス

ラウリマ・スクール・プログラムは、カウアイ島の生徒、教師、職員を対象に個人に寄り添った革新的な学習体験の開発を行っています。

2024年の支援活動

地元の**40非営利団体**に助成金を支給

反対ページ：50人以上の行員とその友人や家族が、ネイティブ・ハワイアン従業員リソースグループNā ʻŌiwi Alohaの活動に参加し、オアフ島のヒーアでKākoʻo ʻŌiwiに協力しました。この団体は、リブ・コクア・ギビング・キャンペーンの受益者の一つです。

LiveKōkua
#BankingOnHumanity

2024年リブ・コクア・ギビング・キャンペーン

バンキング・オン・ヒューマニティをテーマに、行員と退職者が寄付金を募り、アロハ・ユナイテッド・ウェイの300の提携非営利団体を支援しました。

このキャンペーンでは毎年、新しい方法を取り入れて、慈善活動のための資金を集めています。今年、当行の行員リソースグループはそれぞれ、企業主催の募金イベントで集められた資金の寄付先となる受益団体を選びました。集められた資金は、選ばれた団体に平等に分配されます。受益団体は以下のとおりです。

ハワイLGBTレガシー財団は、ハワイのLGBTQIA+コミュニティを支援する教育プログラムを開発し、社会、健康、経済分野の不平等に取り組む活動を行っています。

Kākoʻo ʻŌiwi は、持続可能な農法で栽培された新鮮な農産物の提供、教育的な訪問や文化ワークショップの開催、地域ボランティア活動日の実施を通じて、文化的なつながりを回復する活動を支援しています。

マイ・ムーブメント（Maʻi Movement）は、生理の貧困格差を解消するために州内の学生に生理用品を無料で提供しています。

U.S. Vets Hawaiʻi は、住宅と総合的なサービスを通じて退役軍人のホームレス化を防止しています。

チームメイトや友人たち一緒にカウアイ島の未来の新居の前に立つヴァネッサ・ウダーベ（右から4番目、黄色い帽子をかぶっている女性）。彼女が初めての家を取得するために必要なハビタット・フォー・ヒューマニティのボランティア時間を達成できるよう、同僚たちが協力して支援しました。

9月に当行が主催した第17回地域社会サービスデーには、行員約200名とその友人・知人が参加しました。

リブ・コクア・ボランティア・プログラムのハイライト

青いTシャツを着たバンコウ・ブルー・クルーが地域奉仕活動で活躍する姿を見かけたことがあるかもしれません。彼らは当行の行員で、時間やスキルを活用し、非営利団体や特定の目的を支援しています。

第17回年次地域社会サービスデー

数百人の行員がプリンセス・ルース・ケエリコラン中学校のキャンパスの清掃を手伝い「Think Big. Dream Big.」というメッセージ力のある壁画を描きました。—地元アーティストのケルシー・カロヒによる作品。　バンク・オブ・ハワイ財団は、2009年より築いてきたタイトル1の学校との特別な関係を称えて、経営陣と共に寄付を行いました。

IHS（人道支援団体）男性用シェルター

ボランティアは毎月、ホームレスの顧客に温かい昼食を提供しました。

グッドウィル・ゴーズ・グラム！

2011年より、当行のボランティアは、雇用に困難を抱える人々が可能性を最大限に発揮できるよう支援するというグッドウィル・ハワイの使命を広め、代表的な募金活動に協力しています。バンク・オブ・ハワイ財団は、過去13年間にわたりこの募金活動のメインスポンサーを務め、これまでに200万ドル以上の募金を募りました。

アロハ・ツリー・アライアンス、アースデイにて

当行のバンコウ・ブルー・クルーは、ハワイの水源保護のために、オアフ島のクリオウオル・リッジ・トレイルに300本以上の在来種の樹木や低木を植えました。

カウアイ・ハビタット・フォー・ヒューマニティ

カウアイ島の従業員たちは、エレエレ支店に勤務するシニア・リレーションシップ・サービスを担当するヴァネッサ・ウダーブさんに代わり、ハビタット・フォー・ヒューマニティのボランティア活動に参加しました。3人の子供を育てるシングルマザーである彼女は、初めてのマイホーム購入に一歩近づきました。

サルベーション・アーミー感謝祭ディナー

当行のボランティアは、オアフ島のニール・S・ブレイドルブレイスデル展示ホールで、サルベーション・アーミーが用意した感謝祭のディナーを、約2,000人の個人、家族、クプナ（高齢者）に提供しました。

サンタのワークショップ玩具寄付運動

当行のブルー・クルーは、子どもと女性専門のカピオラニ医療センターの入院患者に玩具やゲーム、その他の贈り物を届けるための玩具寄付活動を取りまとめました。

バンコウ・ブルー・クルー

894人

バンコウ・ブルー・クルーがボランティア活動に参加しました

2,827時間

特別な支援活動に費やしたボランティア時間

上から時計回り：半年に一度開催されるスマートマネー・レッスン・デーに、銀行全体から集まった行員が中学生を対象に金融に関する授業を行っています。バンク・オブ・ハワイ財団が提供する、小規模事業および再活性化・開発助成金「I Kinometi Para I Kumunidåt I Islå-ta」に選ばれた事業者を表彰しました。ケリーリン・ヴェア（KerryLynn Vea）は中学生に小切手の授業をしました。

地域社会再生投資法／2024年の金融経済教育

当行は、低中所得者層を支援するプログラムやプロジェクトに積極的に関与していることを誇りに思っています。

「極めて高い」評価を受けました

バンク・オブ・ハワイは、地域社会の信用ニーズに応えることを全銀行に奨励する連邦法「地域再投資法（CRA）」に基づき、その遵守状況について定期的に評価を受けています。CRAの対象となる重点分野には、金融リテラシーの指導、小規模事業を支援する団体との提携、経済的負担を抑えた価格の住宅や報酬の良いの仕事の創出の支援、ホームレス問題への取り組み、確定申告書の作成などが含まれます。

サイパンの小規模事業を支援

バンク・オブ・ハワイ財団が毎年実施している「I Kinometi Para I Kumunidåt I Islå-ta」の小規模事業活性化および開発助成金プログラムは、2012年のプログラム開始以来、サイパンの65人の起業家や小規模事業者を支援し、地域社会に経済的な安定をもたらしました。

2024年には5つの小規模事業がそれぞれ5,000ドルを受け取りました。

- ケータリング事業と移動式軽食販売を手がける**Divine's Essentials**は、その資金を使用して配達用バンをフルキッチンを備えたフードトラックに改造し、事業拡大を図りました。
- **Eastside Cuts**は、カグマン村唯一の理髪店です。同店は、この資金を利用してスタッフを雇用しトレーニングを実施するとともに、マーケティング対象を広げ近隣地域も対象としました。
- **Isla Consultancy Services**は、学生や小規模事業主が成功を収められるよう、メンターシップやトレーニングを提供するために、専門ソフトウェアやその他のツールを購入しました。
- 建設資材や家具などを提供する信頼されている企業である**Mechille Corp.**は、化学薬品を使わずに浄化槽を清掃できる、環境に優しく新しい廃水浄化装置の試験と開発を継続するために資金を活用しました。
- 釣り餌や釣具を扱う**Peska Tackle**は、地元と商業漁業コミュニティ向けの商品在庫を拡充するとともに、看板と作業台の追加設置を行いました。

プリンセス・ルース・ケエリコラニ中学校で金融リテラシーの向上に貢献

4月と10月に行員数十名が、プリンセス・ルース・ケエリコラニ中学校で375名の生徒たちに貯蓄の大切さを教えるスマートマネー・レッスン・デーを開催しました。

低所得者向けに確定申告の準備

確定申告の時期には、6名の行員ボランティアが、ボランティア所得税申告支援（VITA）プログラムの一環として、対象となる納税者に対して無料で確定申告を提供するサービスの認定資格を得ました。

VITAは障がいのある人、高齢者、英語の理解に制約のある人、収入が約6万6,000ドル以下の人など、コミュニティの人々が税金の還付について最大の恩恵を受けられるように無料の税務支援を提供しています。当銀行の行員は合計134時間をボランティア活動に費やし、62件の確定申告書を作成しました。

里親制度を経験した若者たちのセーフティネット

EPIC 'Ohana が行っている HI H.O.P.E.S. イニシアチブのような特別なプログラムは、里親制度を経験したハワイの若者が社会での成功できるよう必要な支援やチャンスを提供しています。

オアフ島で最も一般的な支出

- **33%** 教育
- **28%** 自動車
- **25%** 住宅

近隣諸島で最も一般的な支出

- **42%** 自動車
- **25%** 住宅
- **17%** 教育

2010年のHI H.O.P.E.S.開始以来

1,133 個人貯蓄口座が開設されました

166万ドル以上

口座合計額

Kaleo Keko‘olani（カレオ・ケコオラニ）とCarlie Woodward-Dela Cruz（カーリー・ウッドワード・デラクルス）は、行員を対象に2種類のレイの作り方を教えるワークショップに参加しました。また、このグループは、毎年ホノルルのカメハメハ大王像の前で行われる式典用に30フィートのレイを製作しました。

チームの成長を支援する

当行のチームメンバーは、お客様の暮らしの改善のお手伝いをするべく最高の顧客体験をお届けしています。当行は、行員にも素晴らしい体験を届けるべく、キャリア開発の機会、健康と福利厚生の支援、テクノロジーの向上を組み合わせることで、行員自身が成長し、活躍できる職場環境を築いています。

行員のサポートと成長

イントラネットの近代化

社員の主要デジタルハブは、10月に大幅なアップグレードを施して再開したイントラネットです。今回のリニューアルでは、行員の意見を取り入れ、モバイル版やパーソナライズ機能を導入しました。また、人気のソーシャルメディア・アプリのように、新しいレベルで行員同士のつながりを促進する楽しいインタラクティブツールも加えました。

ラーニングエキスポ

行員のフィードバックに応える形で、6月と11月にラーニング・エキスポを開催しました。この機会を通じて、組織内の最新情報や今後の予定を共有し、異なる事業部門間の連携を促進しました。行員は、この3日間のイベントで、さまざまな研修オプションを活用し、当行の最新製品、プログラム、取り組みに関する情報を得ることができました。ラーニング・エキスポでは、行員リソースグループ主催の個人および職業能力開発プログラムに加え、今後のイベントも紹介されました。

メンタルヘルス啓発

2023年のメンタルヘルス啓発月間は大変好評でした。今年はセルフケアや心の健康を中心に、提供内容をさらに拡大しました。マッサージセッションが大変好評だったことから、現在はマッサージとカイロプラクティックの両方を毎月継続的に提供しています。

また、当行の従業員リソースグループである ブルー・ブリゲード、Nā ʻŌiwi Aloha、ウィメン・インスパイアード は、瞑想指導、ヨガ、Mālama ʻĀina セッション、楽しいウォーキングなどを通じて、交流とリラックスの場を提供し、この取り組みを支援しました。5月28日、当行はメンタルヘルス向上支援の意を表して、緑色のものを身につけて出勤し、その月を締めくくりました。

5月28日、多くの行員が緑色のものを身につけ、メンタルヘルスを大事にすることの大切さを認識しました。

成果を評価する

個人やチームが素晴らしい成果を達成した際には、そのニュースをみなと共有したいと考えています。当行は、複数の表彰制度やエンゲージメントプログラムにより、従業員への感謝の気持ちを表しています。

当行のSHINE!プログラムは、従業員の勤続年数や誕生日を祝ったり、チームメイトへの感謝を伝えたりすることを奨励しています。

四半期ごとに開催されるバンコー・ベスト・アワードの受賞者は、チームメンバーからの推薦により選出され、その優れた貢献を社内およびソーシャルメディア上で広く紹介しています。

チェアマンズ・サークル・アワードは、当行のコアバリューの実践、戦略的イニシアティブの推進、お客様の要望への対応、地域社会への貢献に多大な貢献をした行員を表彰するものです。この賞

は、卓越した顧客対応と従業員エクスペリエンスを提供し、模範的な役割を果たしていることを称えるものです。

無料の大学教育

バンク・オブ・ハワイ大学支援プログラム（CAP）を通じて、5月に新たに4名の行員がシャミナード大学ホノルル校で学士号を取得しました。このプログラムは、シャミナード大学またはハワイ大学コミュニティカレッジ（UHCC）の準学士または学士課程の授業料全額を負担し、これまでに25名の従業員が希望する分野での学位取得を支援してきました。

開発機会

リーダーシップへの投資

当行は、リーダーの育成が当行の継続的な成功に不可欠だと考えています。リーダーは、チーム全体の幸福を左右する重要な役割を担っています。今年、当行はリーダーシップ・エクセレンス・フォーラム（LXF）を導入しました。このプログラムは、シニアリーダーが組織内の他のリーダーと強固な関係を築きながら、自身の成長と職業能力の向上に取り組み、進化し続ける当行の戦略に対応できるよう支援する、新たな開発機会です。

従業員能力開発プログラム

当行では、従業員のスキル向上、キャリアの発展、ビジネス・コミュニティにおける人脈拡大などを目的とした幅広いプログラムを提供しています。

夏季インターンプログラム

6月10日～8月2日

27の部署を代表する36名が夏季インターンに参加し、8週間にわたって職業的能力開発と銀行業務について学びました。

パスウェイ・トゥ・プロフェッショナル・エクセレンス

7月8日～12月12日

12の事業部門を代表する、管理職に指名された34人の行員が、この高評価のリーダーシップ・プログラムに参加しました。今は、従業員エクスペリエンス・チームとオペレーショナル・エクセレンス・チームが提携し、プロジェクトの最終課題において、実際のビジネス機会に取り組みました。

顧客体験（CX）アドボケート

1月～11月

50の部署を代表する73人の行員が、顧客体験、従業員経験およびオペレーショナル・エクセレンスの向上を目指し、CXアドボケートとしての役割を拡大するため、世界的な調査・アドバイザリー会社による専門的研修を修了しました。

カレッジ・メンターシップ・プログラム

2月26日～4月8日（春）、
10月7日～11月25日（秋）

シャミナード大学、ハワイ・パシフィック大学、ハワイ大学内シドラー・ビジネス・クラブ（ビジネス・エグゼクティブ・ソサエティ・オブ・トゥモロー、会計クラブ、アメリカン・マーケティング・アソシエーション、ファイナンシャル・マネジメント・アソシエーション、テクノロジー・マネジメント・アソシエーション）に在籍する29名の学生が、ボランティアメンターによる、職業能力開発セッションの指導を通じて、企業の職場環境、金融業界、バンク・オブ・ハワイについての理解を深めました。

Ryan Chang（ライアン・チャン）、Cindy Corpuz（シンディ・コープス）、（KerryLynn Veaケリーリン・ヴィア）、Rita Aponte（リタ・アポンテ）が、夏にシャミナード大学を卒業しました。彼らの授業料はバンク・オブ・ハワイ・カレッジ・アシスタンス・プログラムから拠出されました。

10月19日に行われたホノルル・プライド・パレード&フェスティバル**に、バンク・オブ・ハワイの従業員とその家族、友人など数百人が参加し、支援の意を示しました。**バンク・オブ・ハワイ財団は、このハワイ最大級の最も長いパレードでもあるこのイベントで、LGBTQIA+コミュニティを祝うビジョナリー・スポンサーとして5年目を迎えます。

つながりを築く

当行の**行員リソースグループ（ERG）**は、従業員同士の親睦や職業能力開発の機会を通じて、共に興味を共有し、充実感を得られるようにすることで、一体感と帰属意識を醸成しています。また、地域社会への貢献活動を通じて、社会に貢献しています。

2024年のハイライト：

ブルー・ブリゲード：この年は、ワイアナエのU.S. VETSとのボランティアイベント「Unity in the Community」から始まりました。

5月のメンタルヘルス啓発月間の一環として、当行の軍ERGは従業員向けに特別なサンセットヨガと呼吸法のセッションを開催しましました。心身をリラックスさせ、リフレッシュできる場となりました。セッション終了後には、健康的なパウハナ（ハワイ語で「お疲れさま」の意）の集いが行われました。同ERGは、軽食を提供し、メンタル回復力を高めるためのセルフケアについてのディスカッションも主催しました。

NĀ ʻŌIWI ALOHA：ハワイ先住民ERGは、ハワイ先住民の著名な教育者でありエンターテイナーでもあるクム・カハヌオラ・ソラティオによるハワイ語入門講座（ʻōlelo Hawaiʻi ）を主催しました。100人以上の従業員がこの教育的イベントに参加しました。

6月には、ハワイ諸島を統一したカメハメハ大王を祝う2つの特別なイベントに50人以上の従業員が参加しました。最初のイベントは、昼休みを利用したワークショップで、2種類のレイの作り方を学び、30フィートもある美しいプルメリアのレイ作りを手伝いました。このレイは、翌日に行われたハワイ文化の継承を祝う州全体の年間行事の一環として、ホノルルのカメハメハ大王像前で執り行われたレイ・ドレーピング式典にNā ʻŌiwi Aloha の alakaʻi（リーダー）によって正式に贈呈されました。

11月には、50名以上の従業員とその家族が、オアフ島ウィンドワード地区にあるカコオ・オオウィで、当行のアイナ（土地）を大切にし、ハワイ文化をより深く知るための地域奉仕活動に参加しました。

RAINBOH：当行のLGBTQIA+ERGは、トランスジェンダーの人々に影響がある問題への認識を高めることを目的に、3月にトランス・デイ・オブ・ビジビリティのランチ付きトークショーを開催しました。参加者は、仲間ををサポートし安全な場を作り出す方法について学びました。

RainBOHは6月に、カウアイ・プライド・パレード＆フェスティバルに参加し、ホノルル・エイズ・ウォークでボランティア活動を行い、プライド月間をメンバーと共に祝うレインボー・コネクトを主催しました。

9月には、バンク・オブ・ハワイはハワイLGBTレガシー財団と提携し、一般公開のレインボータウンホールを後援しました。当行のRainBOH ERG共同議長が司会を務め、さまざまな企業の専門家が有意義な議論を交わしました。

ウィメン・インスパイアード：好評につき、このERGは従業員メンター・プログラムを3年連続で復活させました。この6か月間のプログラムは毎年規模を拡大しており、今回新たに、学びの機会と指導を求める20人のメンティーと、知識と経験を共有する社内のメンターがマッチングされました。

10月には、ERGは半日のフォーラム「Blossoming Futures」を開催しました。銀行のリーダーが率いるパネルディスカッションでは、現代の職場に役立つリソースや戦略について話し合いました。

「私にとって、バンク・オブ・ハワイはハワイの文化そのものです」

—ハンク・マキニ医師

「バンク・オブ・ハワイは、順調な時も困難な時も、乗り越えるために必要な支援を提供してくれる心強い存在です」

—シャロン・マキニ

EYES PLUS, INC.

ハンク・マキニ（検眼医）、シャロン・マキニ 共同経営者

EYES PLUS, INC.は、1990年に創業した家族経営の眼科診療所です。同診療所は、乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の視力ケアと健康教育に力を入れており、オアフ島全域だけでなく海外の人々にもサービスを提供しています。マキニ博士はスポーツビジョンの専門知識を活かし、子どもの全体的なパフォーマンス向上に重点を置いた「アカデミック・ビジョン・ケア」を開発しました。この包括的なプログラムは、視力の向上を通じて子どもの自信や学業成績を伸ばすだけでなく、行動上の問題と誤診されて不必要な投薬を受けるケースを防ぐ役割も果たしています。その情熱は、子供たちとその家族にとって人生を変える結果をもたらし、特にデジタル時代において、早期の総合的な小児視力検査の必要性を広めるプロジェクトS.A.V.E.（Supporting Academic and Visual Excellence）の設立につながりました。

EYESPLUSINC.COM

右：マキニ医師と妻のシャロン（中央）、娘のアレクシス（左）、アリアナ（右）。長女のアンブロシア・（マキニ）ペデン（検眼医）は現在、ケンタッキー州ロンドンで診療に従事している。

Calvin Klein

「自分と同じ価値観を持ち、同じように地域社会に貢献するパートナーを求めているなら、バンク・オブ・ハワイがワイでその役割を素晴らしい形で担ってくれています」

—ジョー・スプラグ

ハワイアン航空

ジョー・スプラグ CEO

ハワイアン航空は、ハワイ最大の最も歴史のある航空会社です。1929年にインターアイランド航空として設立され、現在はハワイと北米、アジア、南太平洋を結ぶ路線を提供しています。ハワイアン航空は現在、アラスカ航空グループの一員です。アラスカ航空の歴史は、1932年にアンカレッジで設立されたマギー航空にまで遡ります。アラスカ航空は、かつてアラスカの遠隔地の村々にサービスを提供していましたが、現在では120以上の目的地と5つの国にわたる路線を展開しています。ハワイアン航空とアラスカ航空は両社とも、当該地域社会において欠かせない存在であり、顧客へのきめ細やかな対応でその名を知られています。アラスカ航空とハワイアン航空は2024年9月に合併完了し、現在、両社の運航は単一の運航認可のもとで一本化されるプロセスが進められています。合併後は全米で5番目の規模の航空会社となり、顧客へのサービス拡大が期待されています。**HAWAIIANAIRLINES.COM ALASKAAIR.COM**

右：ジェイソン・アグア（航空機整備士）、アリーナ・ハイン（ゲストサービス担当）、カライ・スミス（貨物担当）、ジョー・スプラグ（CEO）、ロニャ・キール（A321機長）、クリスチャン・ダニエルソン（ランプ担当）、ラリッサ・ヒューズ（客室乗務員）。

「バンク・オブ・ハワイは単なる機能として銀行ではありません。我々はバンキングの機能だけではありません。リレーションシップですそしてコミュニケーションです。現代において、携帯を取り出して、電話をかけ、質問に対する回答をすぐにもらえることが重要です」

—コンラッド・ムラシゲ

コンラッドと エロイーズ・ムラシゲ

SHIOI CONSTRUCTION, INC.

コンラッド・ムラシゲとエロイーズ・ムラシゲは大学で出会い、結婚し、共にカウアイ島のShioi Construction, Inc. (SCI) に従事しました。2025年には結婚50周年を迎えます。エロイーズは、1948年に7年生相当の学力でSCIを創業したケネス・シオイの娘です。地元に根付いた (kama'aina) 家族経営のこの企業は、現在、従業員に引き継がれて商業建設会社へと成長し、州全域で数多くのプロジェクトを手がけてきました。Shioi Construction, INC. は、卓越した職人技と高品質なサービスを提供することに加え、地元の労働者を積極的に雇用し、地域社会への貢献にも力を入れています。コンラッド・ムラシゲは、2代目会長でありSCIの元オーナーで、40年以上にわたり会社の発展に尽力してきました。コンラッドはケネスから受けた指導に感謝し、現在も次世代のリーダーシップのアドバイザーとして活躍しています。コンラッドとエロイーズは、Kālaiサービスグループの担当マネージャーと緊密に連携しながら、孫の教育資金を含む長期的なプランを立てています。さらに、この家族は、建設業界でのキャリアを志す地元の学生に毎年奨学金を授与するケネス・シオイ記念奨学金を設立しました。**SHIOIHAWAII.COM**

右：エロイーズとコンラッド・ムラシゲ (会長)。

OSHA A PLANK 2 1 E
PRL316 APA
P21
1047

連結損益計算書

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社（1株当たりの額を除き、千ドル）

12月31日終了年度	2024年	2023年
受取利息		
貸出金・リース債権利息および手数料	$ 653,615	$ 590,611
投資有価証券収益		
売却可能分	89,705	93,528
満期保有分	85,515	92,750
現金および現金同等物	30,701	28,380
その他	4,215	5,106
受取利息合計	863,751	810,375
支払利息		
預金	368,764	250,847
現先取引売却有価証券	4,608	16,306
ファンド借入金	44	888
短期債務	–	5,713
その他負債	23,755	39,596
合計支払利息	397,171	313,350
純受取利息	466,580	497,025
貸倒引当金	11,150	9,000
貸倒引当金控除後純受取利息	455,430	488,025
非利息収入		
手数料、為替およびその他のサービス料金	57,236	55,556
信託および資産管理	47,485	43,597
預金口座のサービス料金	32,430	31,116
銀行保有生命保険	13,568	11,643
確定年金および保険	5,436	4,736
住宅金融バンキング	4,109	4,255
投資有価証券収益（損失）（純額）	(7,507)	(11,455)
その他	19,772	37,161
合計非利息収益	172,529	176,609
非利息経費		
給与および諸給付	232,564	234,079
純賃料	42,084	39,924
純設備費	40,886	40,251
データプロセッシング	19,540	18,836
専門家手数料	19,319	17,459
FDIC保険	17,850	28,313
その他	57,865	58,656
合計非利息経費	430,108	437,518
法人所得税引当額控除前収入	197,851	227,116
法人所得税引当額	47,857	55,914
当期純利益	$ 149,994	$ 171,202
優先株式配当	12,644	7,877
普通株主に帰属する当期純利益	$ 137,350	$ 163,325
基本1株当たり利益	$ 3.48	$ 4.16
希薄化後1株当たり利益	$ 3.46	$ 4.14
1株当たり配当	$ 2.80	$ 2.80
基本加重平均普通株式数	39,450,737	39,274,291
希薄化後加重平均普通株式数	39,700,388	39,428,912

前期情報の一部には、今期決算と一致するよう再分類されたものもあります。

連結財務諸表（独立登録会計事務所の報告書を含みます）については、2024年12月31日年終了年度のForm 10-K有価証券報告書に含まれているバンク・オブ・ハワイ年次報告書をご参照ください。

連結貸借対照表

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよびその子会社（1株当たりの額を除き、単位千ドル）

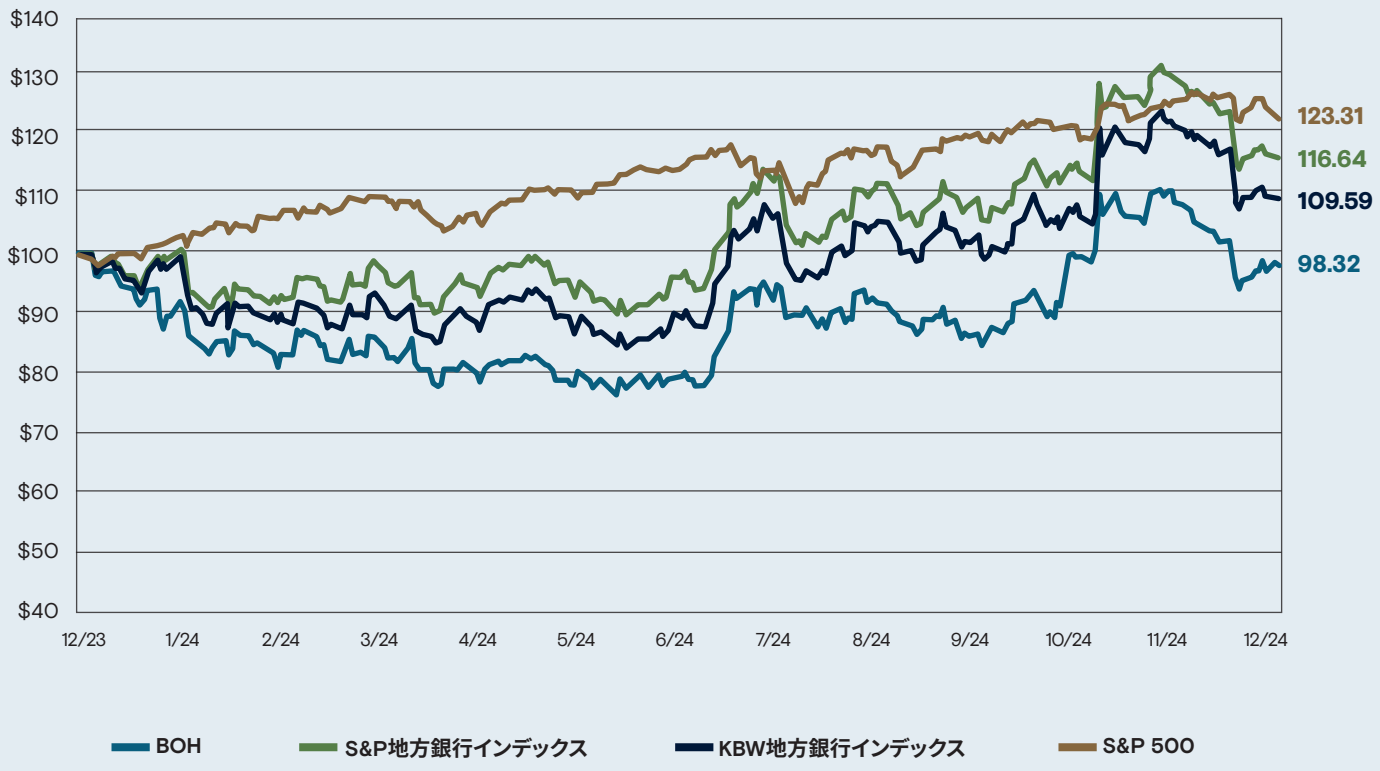
12月31日現在	2024年	2023年
資産の部		
現金および現金同等物	$ 763,571	$ 1,000,944
投資有価証券		
売却可能有価証券	2,689,528	2,408,933
満期保有分（時価3,820,882ドルおよび4,253,637ドル）	4,618,543	4,997,335
売却目的貸出金	2,150	3,124
貸出金とリース債権	14,075,980	13,965,026
貸倒引当金	(148,528)	(146,403)
貸出金とリース債権（純額）	13,927,452	13,818,623
動産・不動産（純額）	184,480	194,855
オペレーティングリース使用権資産	80,165	86,110
未収受取利息	66,367	66,525
モーゲージサービス権	19,199	20,880
営業権	31,517	31,517
銀行保有生命保険	481,184	462,894
その他資産	736,958	641,556
資産合計	$ 23,601,114	$ 23,733,296
負債の部		
預金		
非利付き預金	$ 5,423,562	$ 6,058,554
利付き預金	3,784,984	3,749,717
貯蓄	8,364,916	8,189,472
定期	3,059,575	3,057,302
合計預り金	20,633,037	21,055,045
現先取引売却有価証券	100,000	150,490
その他負債	558,274	560,190
オペレーティングリース債務	88,794	94,693
未払退職給付	23,760	23,673
未払利息	34,799	41,023
その他負債	494,676	393,940
負債合計	21,933,340	22,319,054
株主資本		
優先株（シリーズA、額面0.01ドル、授権株式数180,000株、発行済かつ流通株式数）	180,000	180,000
優先株（シリーズB、額面0.01ドル、授権株式数165,000株、発行済かつ流通株式数）	165,000	-
普通株式（額面0.01ドル、授権株式数 500,000,000株、発行済／残高：2024年12月31日時点 - 58,765,864株 / 39,762,255株、2023年12月31日時点 - 58,755,465株 / 39,753,138株）	585	583
資本剰余金	647,403	636,422
累積その他包括的損失	(343,389)	(396,688)
利益剰余金	2,133,838	2,107,569
自己株式の原価（株数：2024年12月31日時点 - 19,003,609株、2023年12月31日時点 - 19,002,327株）	(1,115,663)	(1,113,644)
株主資本合計	1,667,774	1,414,242
負債及び株主資本合計	$ 23,601,114	$ 23,733,296

前期情報の一部には、今期決算と一致するよう再分類されたものもあります。

連結財務諸表（独立登録会計事務所の報告書を含みます）については、2024年12月31日年終了年度のForm 10-K有価証券報告書に含まれているバンク・オブ・ハワイ年次報告書をご参照ください。

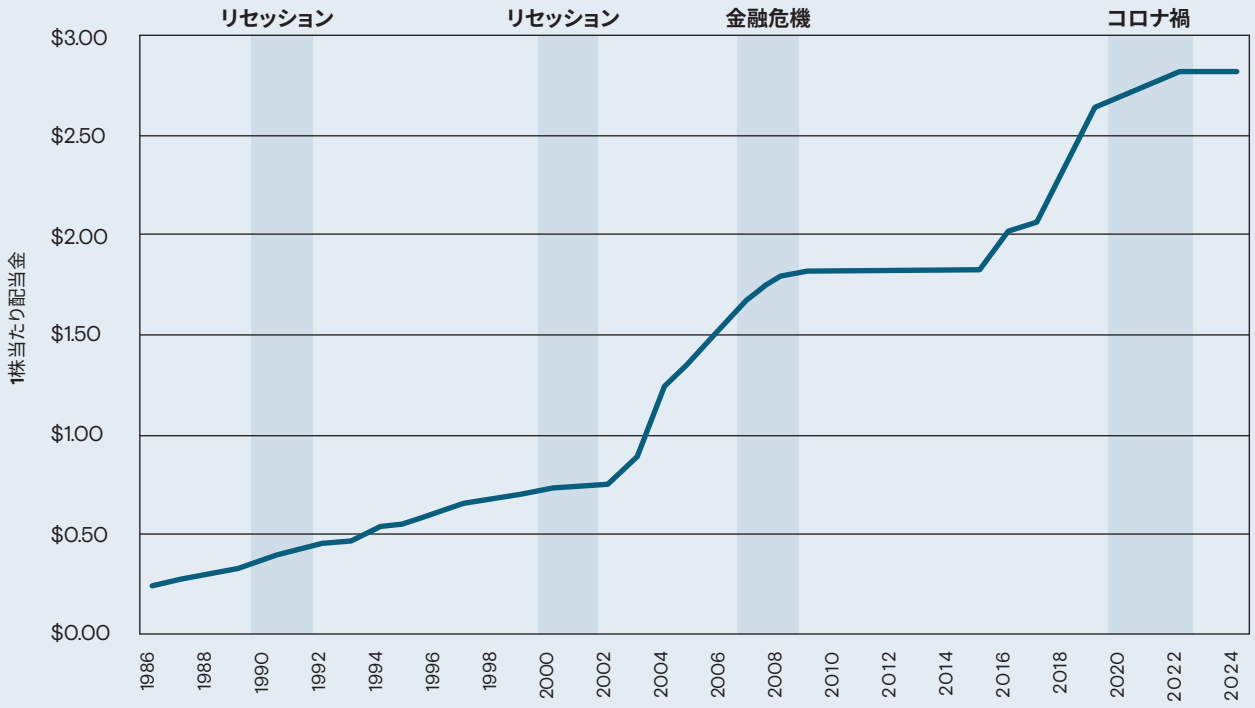
株価の相対的パフォーマンス

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション／バンク・オブ・ハワイ（2024年12月31日現在）



継続的な配当金の支払い

（バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション）



注記：株式分割のために調整された過去の配当

エグゼクティブコミッティおよびオペレーティングコミッティ

2024年12月31日現在

エグゼクティブコミッティ

バンク・オブ・ハワイのエグゼクティブコミッティは銀行の主要部門を担当しており、その全体的な戦略と業績について説明責任を負います。

Peter S. Ho（ピーター・S.ホー）
会長兼
最高経営責任者

James C. Polk
（ジェームス・C.ポーク）
社長兼
最高バンキング責任者

Marco A. Abbruzzese
（マルコ・A.アブルッツェーゼ）
副会長兼
ウェルスマネジメント担当シニア・エグゼクティブ・ディレクター

Matthew K.M. Emerson
（マシュー・K.M.エマーソン）
副会長
兼個人向け銀行業務責任者

Patrick M. McGuirk
（パトリック・M.マクガーク）
副会長
兼最高管理責任者、
法務顧問および事務部長

Taryn L. Salmon
（タリン・L.サーモン）
副会長
兼最高情報・業務責任者

S. Bradley Shairson
（S.ブラッドリー・シェアソン）
副会長
兼副最高リスク責任者

Dean Y. Shigemura
（ディーン・Y.シゲムラ）
副会長兼
最高財務責任者

Guy C. Churchill
（ガイ・C.チャーチル）
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント
兼最高信用責任者

Sharlene R. Ginoza-Lee
（シャーレーン・R.ギノザ＝リー）
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント
兼最高人事責任者

Susan L. Ing
（スーザン・L.イング）
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント
兼最高マーケティング責任者
（2024年11月1日退職）

Edward C.S. Kim
（エドワード・C.S.キム）
エグゼクティブ・
バイスプレジデント
兼個人向け融資業務担当
シニア・エグゼクティブ・
ディレクター

Bradley S. Satenberg
（ブラッドリー・S.セテンバーグ）
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント
兼最高財務責任者補佐

Kristine R. Stebbins
（クリスティン・R.ステビンズ）
シニア・エグゼクティブ・
バイスプレジデント
兼最高マーケティング責任者

縦の列、1段目：ピーター・S.ホー、シャリーン・R.ギノザ＝リー、クリスティン・R.ステビンズ、ブラッドリー・S.セーテンバーグ。2列目：スーザン・L.イング、ディーン・Y.シゲムラ、マシュー・K.M.エマーソン、エドワード・C.S.キム、タリン・L.サーモン。3列目：ジェームズ・C.ポーク、パトリック・M.マクガーク、マルコ・A.アブルッツェーゼ、ガイ・C.チャーチル、S.ブラッドリー・シェアーソン。

オペレーティングコミッティ

バンク・オブ・ハワイのオペレーティングコミッティは、各事業セグメントの企業スタッフ部門を代表する19名のリーダーで構成され、銀行の日々の業務を担当しています。

Eric Chen（エリック・チェン）
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼エンタープライズ・オペレーション担当エグゼクティブ・ディレクター

Ryan A. Field
（ライアン・A.フィールド）
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高情報セキュリティ責任者およびITリスク管理責任者

Natalie P. Fogle
（ナタリー・P.フォグル）
エグゼクティブ・バイスプレジデント不動産・施設担当エグゼクティブ・ディレクター

Jill F.S. Higa（ジル・F.S.ヒガ）
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼支店銀行業務・コンタクトセンター担当シニア・エグゼクティブ・ディレクター

Torrie M. Inouye
（トリー・M.イノウエ）
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高データ・ビジネスリスク・エグゼクティブ

Joy Ishiara（ジョイ・イシアラ）
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼ブランド・統合マーケティング担当エグゼクティブ・ディレクター

Vance H. Jones
（バンス・H.ジョーンズ）』
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高テクノロジー責任者

Roger J. Khlopin
（ロジャー・J.フロービン）
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高投資責任者および投資運用サービス担当ディレクター

Jennifer Lam
（ジェニファー・ラム）
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼財務・ビジネスリスク・エグゼクティブ

Kimarie P. Matthews
（キマリー・P.マシューズ）
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼コンタクト・センターおよび顧客エンゲージメント担当エグゼクティブ・ディレクター

James K.M. Moniz
（ジェームス・K.M.モニーズ）
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼不動産担保貸付業務担当エグゼクティブ・ディレクター

Lacey M. Nakaguma
（レーシー・M.ナカグマ）
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼最高監査エグゼクティブ

Shauna M. Pantohan
（シャナ・M.パントハン）
シニア・バイス・プレジデント兼文化および従業員エクスペリエンス担当ディレクター

Michelle T. Sato
（ミシェル・T.サトウ）
エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼個人向け商品およびセグメント化担当エグゼクティブ・ディレクター

Dana S. Takushi
（デイナ・S.タクシ）
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼プライベートバンク・シニア・エグゼクティブ・ディレクター

Melissa A. Torres-Laing
（メリッサ・A.トーレスーレイン）
シニア・バイス・プレジデント兼コーポレート・コミュニケーション担当ディレクター

Aretina C. Trepczyk
（アレティナ・C.トレプチク）
エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼企業およびオペレーショナル・リスク担当エグゼクティブ・ディレクター

Luke W.T. Yeh
（ルーク・W.T.イェ）
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼信用リスク分析担当シニア・エグゼクティブ・ディレクター

Dirk K. Yoshizawa
（ダーク・K.ヨシザワ）
シニア・エグゼクティブ・バイスプレジデント兼コマーシャル・バンキング・グループ・マネージャー

取締役会、前列左から：ケント・T.ルシアン、アリシア・E.モイ、ピーター・S.ホー、ミシェル・E.ハルスト、レイモンド・P.バラ。後列左から：ロバート・W.ウー、ジョン・C.エリクソン、ジョシュア・D.フェルドマン、ダナ・M.トキオカ、スザンヌ・P.ヴァレス＝ラム、エリオット・K.ミルズ、ビクター・K.ニコルズ。

2024年バンク・オブ・ハワイ取締役会

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよび
バンク・オブ・ハワイ

2024年12月31日現在

Peter S. Ho（ピーター・S.ホー）
会長兼最高経営責任者
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションおよび
バンク・オブ・ハワイ

Raymond P. Vara（レイモンド・P.バラ）
リード独立取締役
社長兼最高経営責任者ハワイ・パシフィック・ヘルス

John C. Erickson（ジョン・C.エリクソン）
元副会長、ユニオンバンク

Joshua D. Feldman（ジョシュア・D.フェルドマン）
社長兼最高経営責任者、トリ・リチャード・リミテッド

Michelle E. Hulst（ミシェル・E.ハルスト）
社長、
ガムガム

Kent T. Lucien（ケント・T.ルシアン）
元副会長
兼最高戦略責任者、
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
およびバンク・オブ・ハワイ

Elliot K. Mills（エリオット・K.ミルズ）
副社長
ディズニーランド・リゾート・アンド・
アウラニ、ア・ディズニー®リゾート・アンド・
スパ

Alicia E. Moy（アリシア・E.モイ）
社長
兼最高経営責任者、
ハワイ・ガス

Victor K. Nichols（ビクター・K.ニコルズ）
元会長
兼最高経営責任者
ハーランド・クラーク・ホールディングス

Dana M. Tokioka（ダナ・M.トキオカ）
バイスプレジデント、
アトラス・インシュアランス・エージェンシー・インク

Suzanne P. Vares-Lum（スザンヌ・P.ヴァレス＝ラム）
ディレクター、
ダニエル・K・イノウエ・アジア太平洋センター
安全保障研究センター

Robert W. Wo（ロバート・W.ウー）
オーナー兼取締役、
C.S.ウォー・アンド・サンズ・リミテッド

株主情報

将来の見通しに関する記述

本報告書は、1995年証券民事訴訟改革法に定義する意味における「将来の見通しに関する記述」を含んでいます。それらの記述は、過去または現在の事実と厳密には関連していないという事実により識別可能です。また、それらの記述は特に、当行のサービス地域およびその他の地域において予想される経済環境および事業環境、信用力ならびに将来の期間における財務上および事業上のその他事象、当グループの将来の業績および財政状態、当行の事業戦略および計画、ならびに当行の目標および将来の業務に関する記述を含んでいる可能性があります。また、当行は、米国証券取引委員会（「SEC」）に提出または提供したその他の文書においても将来の見通しに関する記述を行う場合があります。さらに、当行経営陣は、アナリスト、投資家、メディア関係者その他に対して将来の見通しに関する記述を口頭で行う場合があります。将来の見通しに関する記述は様々な前提に基づいています。その中には正確ではないものが含まれている可能性があり、様々なリスクや不確実さがあるために実際の結果は見通しと大きく異なる場合があります。そのようなリスクや不確実さには次のものが含まれますがこれに限定されるものではありません。(1) 国内外または地元の経済状況が予想と異なることがあり、特にハワイの観光業にマイナスの影響を及ぼす出来事があり得ます。(2) 新型コロナウイルスのパンデミックによる影響の残存や、今後の感染拡大の影響（ハワイへの観光客減少、政府・企業・個人による影響軽減措置の効果を含む）。(3) 信用市場や純利鞘を確保できるかどうかといった当行の能力に影響を与えかねない市場金利の変化。(4) 当行の信用力およびリスクプロファイル（これによって信用損失の引き当てに求められる水準が増減することがあります）。(5) 立法および規制上のイニシアチブ、特に2010年ドッド＝フランク・ウォール街改革・消費者保護法（「ドッド・フランク法」）および2018年経済成長・規制緩和・消費者保護法の影響。(6) 提案済みの普通株式の自社株買いの金額およびタイミングの変更。(7) 米国および海外における証券市場、パブリック債券市場、その他資本市場の予期しない変化、これにはベンチマーク金利であるロンドン・インターバンク金利（LIBOR）の廃止予定が含まれますがこれに限定されるものではありません。(8) 当行が業務展開している市場における金融政策および財政政策の変更。(9) バーゼル銀行監督委員会および米国規制当局が採択した要件に基づき、十分な流動性および資本を維持するためのコストの増加またはそれに向けた当行の能力。(10) 会計標準の変更。(11) 公法115－97（いわゆる減税・雇用法）を含む税法や規制の変更、またはそのような法律や規制の解釈。(12) 当行の運用システム、情報システムまたはインフラ、または販売業者、第三者ベンダーおよびその他のサービスプロバイダーの過失または侵害。(13) 顧客口座管理、総勘定元帳処理、および貸付または預金システムに不具合または混乱を発生させることになる当行の情報システムのセキュリティの中断または侵害。(14) 自然災害、世情不安または悪天候、公衆衛生、感染症の流行、および当行ならびに顧客業務に影響を及ぼすまたはハワイの観光業にマイナスの影響を及ぼすその他の条件。(15) 金融サービスおよび商品に対する市場の競争圧力。(16) 当行の評判を損なうおそれのある実際の行為またはそのような疑いのある行為。(17) 費用、経費、和解、判決を含む当行への訴訟および規制調査の影響。「思う」、「予想する」、「期待する」、「意図する」、「目標とする」などの表現は、将来の見通しに関する記述を特定することを目的としていますが、そのような記述を特定する排他的手段ではありません。

読者は、これらのリスクと不確実性を考慮したうえで、将来の見通しに関する記述を実際の結果の予測として過度に信頼すべきではありません。実際の結果が、当行の過去の経験ならびに当行の予想および予測と大きく異なる原因となりうるリスクや不確実性としては、当行の最新の年次報告書（Form 10-K）の項目1A「リスク要因」、項目7「経営陣による財政状態および経営成績の検討および分析」ならびにその他の箇所、および当行がその後SECに提出する書類のいずれかの箇所に記載したものを含みますがそれらに限りません。さらに、いかなる将来の見通しに関する記述も作成日時点のものに過ぎず、当行は連邦証券法上要請される場合を除き、記述作成日以降の事象や状況を反映し、または予期せぬ事象の発生を反映して将来の見通しに関する記述を更新または修正する義務を負いません。

本社
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
130 Merchant Street
Honolulu, Hawaii 96813

定時総会
定時株主総会は2025年4月25日（金）午前8時30分（ハワイ標準時間）に開催します。オンライン定時総会へのアクセス情報は、当行の2025年委任状フォームに記載されています。

名義書換代理人および登録代理人
Computershare Investor Services, LLC
150 Royall Street, Suite 101, Canton, MA
02021

ニューヨーク証券取引所で上場されている普通株式：BOH
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションの普通株式は、ニューヨーク証券取引所（ティッカー：BOH）に上場・取引されています。また、主な金融ニュースでは、通常「バンク・オブ・ハワイ」と呼ばれています。

配当金再投資および株式購入制度（DRP）
バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションのDRPにより、既存株主は、株式の配当金を再投資、または、選択性の現金支払いにより、当行株式の普通株式を購入することができます。

個人がDRPに参加するためには、最低1株の株式を保有する必要があります。

株式は、投資購入日を最終日とする5取引日の平均に基づいて各月の10営業日目に購入されます。

株式購入の最低支払金額は25ドル、最高金額は四半期当たり5,000ドルです。

株式の購入および株券の保護預かりについて、手数料は発生しません。手数料はDRPの株式の売却により評価されます。

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションのDRPに関する詳細は、www.boh.com、またはComputershare Investor Services LLCに電話（1-888-660-5443）することで入手できます。

問い合わせ
株式譲渡サービス、保有または配当金の再投資に関してご質問がある株主は、Computershare Investor Services LLCに電話（1-888-660-5443）でお問い合わせください。受付時間は、米国中部標準時午前7時から午後5時までです。

財務情報についての質問がある投資家およびアナリストは、
Chang Park
（インベスターズリレーションズ・マネージャー、
電話：1-808-694-8430

一般的なご質問については、
電話（1-888-643-3888）
またはwww.boh.comにお問い合わせください。

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションは、ハワイおよび西太平洋地域の企業、消費者、政府にサービスを提供する独立した地域金融サービス会社です。同社の主要子会社であるバンク・オブ・ハワイは、1897年に設立されました。バンク・オブ・ハワイ・コーポレーションの詳細については、同社ウェブサイトwww.boh.comをご覧ください。

Bank of Hawai‘i

バンク・オブ・ハワイ・コーポレーション
P.O. BOX 2900
HONOLULU, HAWAII 96846

当行の会長、お客様、コミュニティ、行員についての特集動画を含むバンク・オブ・ハワイの 2024 年年次報告書デジタルサマリーをご用意しました。**www.boh.com/annual-report** にてご覧いただけます。